



# としょかんへいごう わくわく本だま あたらしい本をしょうかします!



としょかんぞう

## 『テーブルのしたになにがいる?』

アラン・アールバーグ/文 プレース・イングマン/絵  
とたによこ/訳 徳間書店



テーブルの下から次つぎに  
どうぶつ動物たちがあらわれた!

## 『おたすけてんぐベンベン』

長谷川義史/作・絵  
教育画劇



ふしぎなじゅつで、みんな  
のおねがいをかいつ。

## 『はなうりセンパチュンチュン ネパール・ヒマラヤのむかしばなし』

茂市久美子/文  
アヤ井アキコ/絵  
BL出版



ある夜、けものたちの会話  
に耳をすませていると……。

## 『モンスターファミリー』

有田奈央/作  
クレーン謙/絵  
PHP研究所



モンスターと人間、  
友だちになれるかな?

## 『泣き虫ビンゴ!』

木内南緒/作  
森田るり/絵  
岩崎書店



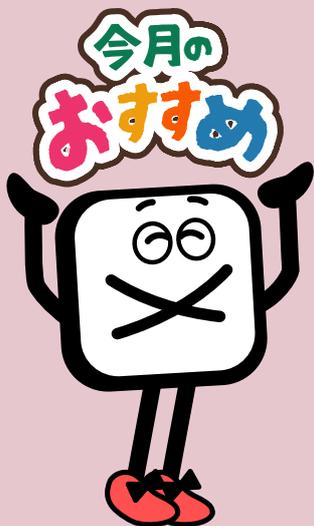
うれしなみだや玉ねぎなみだ、  
あつ集めてビンゴをそろえよう。

## 『にじ』

荒木健太郎  
/文・写真・絵  
金の星社



きれいな写真を見ながら、  
にじのひみつをさがります。



## 『マイヤーさんと大きくなりすぎた犬』



リリアン・ムーア/作  
レオーネ・アデルソン/作  
小宮由/訳  
さ・え・ら書房

あつというまに大きくなった子犬のバター  
ボールは、大きな体でいたずらばかり。とうとう  
町の人たちにこわがられている犬の捕獲人・  
マイヤーさんにつれていかれてしまいます。

## 『ベランダでわたをつくったよ そだててつむぐ綿花』



あおきあさみ/さく  
福音館書店

モモは弟といっしょに、ベランダのうえき  
ばちで綿花のタネをそだてます。秋になると  
実がはじめて、ふわふわのわたがとれました。  
どうやって糸にするのかな?





# としょかんへいごう わくわく本だま あたらしい本をしょうかいします!



としょかんぞう

## 『なないろのはし』



横山佳/作  
平澤朋子/絵  
BL出版

3・4 物語 うまく言えない気持ちを、歌にして伝えてみよう。

## 『サメのイエニー』



リーサ・ルンドマルク/作  
シャルロツテ・ラメル/絵  
よこのなな/訳  
岩波書店

3・4 物語 ひとりぼっちじゃなくて、ひとりが好きなんだ。

## 『白い虹を投げる』



吉野万理子/作  
黒須高嶺/絵  
Gakken

5・6 物語 キャッチボールのスピードを競う大会にいどみます。

## 『ホタルの森と魔法の秘密』



アイシャ・プシュビー/作  
小林晴美/訳  
フレーベル館

5・6 物語 ホタルが、あやしい森へあたしをさそいこむ。

## 『熱はつたわる』



都筑卓司/文  
勝又進/絵  
福音館書店

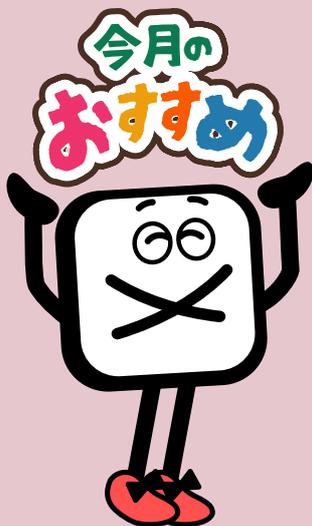
3・4の本 いしや 石焼きイモがあまくておいしいヒミツ、教えます。

## 『「あな」の本 地下から宇宙まで…どこもかしこもあなだらけ!』



ノラ・ニッカム/作  
ロバート・メガンク/絵  
八木恭子/訳  
フレーベル館

3・4の本 世界で一番深いあなは、深さ12キロメートル以上!



## 『ぼくの算数絵日記』



瀬山士郎/文  
タイガー立石/絵  
福音館書店

3・4の本

0はふしぎな数です。たとえば、 $3+0=3$ ですが、 $3\times 0=0$ になります。足しても数は変わらないのに、かけると0になってしまう。算数のふしぎをしょうかいします。

## 『キャロットバトン』



こまつあやこ/著  
毎日新聞出版

5・6 物語

自分にそっくりの、足がおそいうサギが主人公の童話を書いている友真。ノートを見られたことをきっかけに、メンバーが順に物語の続きを書く「童話リレー」が始まりました。

図書館HPからもみられる!



富山市立図書館 子ども版 としょかんだより

2025年6月号 / No. 476

編集発行

富山市立図書館

富山市西町5番1号 電話：076-461-3200